

令和元年度 別海町郷土資料館実績報告

令和元年事業実績報告書 事業分類番号一覧

大分類	中分類	小分類	細分類	ページ番号
1 世代共通	1 学習分野	1 いつでも、どこでも、誰でもが主体的に学ぶことのできる機会を充実します。	16 郷土資料館・附属施設加賀家文書館・豊原分館の一般公開と展示の充実	1
			17 広報活動の充実(ホームページ・郷土資料館だより)	3
			18 郷土学習の支援	
	2 芸術文化分野	1 ふるさと芸術・文化を振興し、文化芸能団体活動をサポートします。	17 郷土研究会等の育成	4
			09 郷土資料の収集・整理・保存・調査研究	5
		3 ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。	10 歴史や自然に関する調査研究	6
			11 ふるさと講座	7
			12 加賀家文書歴史講座	9
			13 特別展・企画展	
			14 郷土学習出前講座	10
			15 出前移動展	11
			16 資料の有効的活用のための貸出	12
			17 郷土学習推進に関わる刊行物の作成	13
2 生涯各期	2 青少年期	2 魅力ある様々な体験的学習活動を展開するとともに、他地域・異学年交流を充実します。	17 郷土資料館サマー・ウィンタースクール	14
	4 高齢期	3 ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。	03 所蔵資料を活用した地域回想法事業	15
3 施設・機関	4 郷土資料館	1 郷土資料館の整備・充実を図り、文化遺産(郷土資料館)の継承に努めます。	01 郷土資料館の建設準備	16

1-1-1-16					
分類	1-1-1 世代共通-学習分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	いつでも、どこでも、誰でもが主体的に学ぶことのできる機会を充実します。				
事業名	郷土資料館・附属施設加賀家文書館・豊原分館の一般公開と展示の充実				
事業内容・目的	町の歴史や自然、加賀家文書等関連資料を広く展示公開し、新着資料、展示解説のリニューアル、調査研究の成果などを常設展示に反映させ、町民の学習機会の充実を図ります。				
評価指標	1. 入館者の満足度（アンケートによる）2. 入館者数（郷土資料館・加賀家文書館）3. 入館者数（豊原分館）				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	80%	80%	85%	85%	85%
目標値2	900	900	950	950	1,000
目標値3	100	100	150	150	200
実績1	93%				
実績2	955				
実績3	84				
決算額	81千円				
評価	B				

令和元年度（2019）実績

1. 入館者の満足度（郷土資料館・加賀家文書館）-93%（アンケート回答31人）
2. 入館者数（郷土資料館・加賀家文書館）-955人（個人-427人・団体-27団体528人）
3. 入館者数（豊原分館）-84人（個人-44人・団体-3団体40人）

団体入館状況（郷土資料館・加賀家文書館）

月 日	団 体 名	人 数	対 応 内 容
6月15日	北方四島交流団	22	展示解説・せんべい焼き体験
7月4日	北海道開拓の村ボランティア	6	展示解説
8月1日	主催事業サマースクール参加者	20	
8月2日	中春別中学校（職員研修）	8	展示解説・講話
8月2日	国立アイヌ民族博物館開設準備室	3	展示解説
8月8日	秋田県北方領土推進協議会	20	展示解説・講話
8月24日	子ども広場ひかり	15	展示解説・昔の道具の体験（せんべい焼き）
9月4日	豊生クラブ	26	展示解説
9月27日	東京大学人文地理クラブ	5	展示解説
10月2日	茶志骨すずらん会・北標津老人クラブ	14	展示解説
10月20日	主催事業加賀家文書歴史講座参加者	11	
11月6日	上春別中学校1年生	3	展示解説・質疑応答「野付について」
11月12日	すくすく学級（中央公民館）	48	展示解説
11月14日	すくすく学級（西公民館）	22	展示解説
11月15日	上春別小学校3年生	14	展示解説・昔の道具の体験（炭火アイロンなど）
11月19日	すくすく学級（東公民館）	18	展示解説
12月3日	別海中央小学校3年生	75	展示解説・昔の道具の体験（炭火アイロンなど）
12月10日	別海中央小学校4年生	39	展示解説・講話「加賀伝蔵と献上鮭」
12月12日	別海中央小学校4年生	37	展示解説・講話「加賀伝蔵と献上鮭」
1月21日	野付小学校3年生	16	展示解説・昔の道具の体験（炭火アイロンなど）
1月28日	別海中央小学校3年生	36	展示解説・質疑応答「別海町の自然について」
2月4日	上春別小学校4年生	11	展示解説・講話・質疑応答「加賀伝蔵と献上鮭」
2月12日	上風連小学校3年生	6	展示解説・昔の道具の体験（炭火アイロンなど）
2月14日	上西春別小学校4年生	27	展示解説・昔の道具の体験（炭火アイロンなど）
2月22日	主催事業ふるさと講座歴史系特別版参加者	21	
3月16日	北海道博物館尾曲香織学芸員他	3	展示資料解説
3月26日	斜里町立知床博物館 三浦一輝学芸員他	2	展示資料解説

団体入館状況（豊原分館）

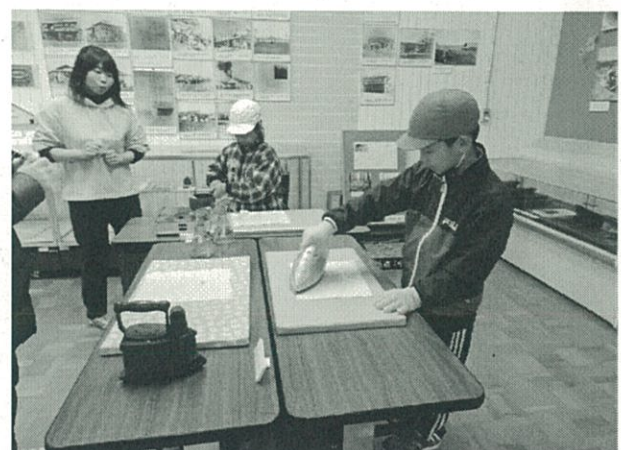
月 日	団 体 名	人 数	対 応 内 容
7月18日	根室振興局	14	展示解説
11月8日	酪農学園大学	11	展示解説
11月16日	置戸町郷土研究会	15	展示解説

入館者の感想-アンケートから- (郷土資料館・加賀家文書館)

- ・展示が分かりやすくなっている。ビデオの前説が良い。(北広島市・60代)
- ・社会の勉強になった。(福岡県・10代)
- ・文書館はとても立派です。郷土資料館ももう少し広いところにと感じました。(仙台市・60代)
- ・加賀さんの功績。道博のアイヌ語地名展で初めて存在を知りましたが、まさか別海で再会できるとは。施設が立派、地元の歴史を大切にしようとする姿勢に共感しました。(札幌市・50代)
- ・文書館の重厚な点と判りやすさ、是非とも後世に伝えて下さい。頑張ってください。(札幌市・60代)
- ・ネット情報とは別の説得力ありますね(東京都・60代)
- ・ずっと続けてほしい。別海の歴史をもっと知りたい。ありがとうございました。(別海町・10代)
- ・もっと何かを展示してほしいのと、どこで発見されたかを展示物の近くのかべなどにあるとより楽しめるかな、と思いました。(別海町・10代)
- ・中学生の目線から見ると昔の物を見るのが楽しい。まず正面にはオオワシやクマ、アザラシといった巨大な生物がいて興奮したし、ちょっと進むと昔使っていた機械などがあり、農家のことなども資料にされていて楽しめました。(別海町・10代)
- ・想像していたよりもたくさんの資料を見ることができました。(札幌市・20代)
- ・別海の歴史等を見る事ができ勉強になりました。(士別市・30代)
- ・もっと入館料を上げてても良いくらい内容が充実していた。(東京都・20代)



別海中央小学校3年生「昔の道具を調べる」せんべい焼き(左)・展示室で道具を調べる様子(右)



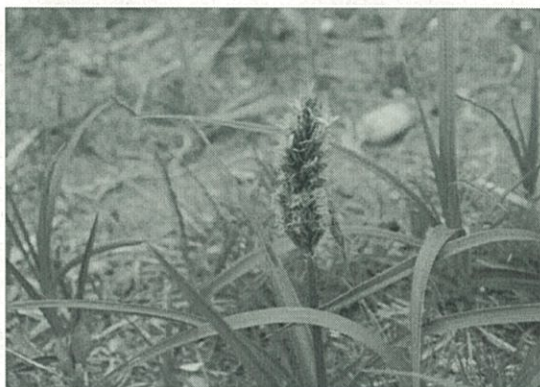
上風連小学校3年生「昔の道具を調べる」せんべい焼き(左)・アイロン体験(右)

1-1-1-17						
分類	1-1-1 世代共通-学習分野			担当課	郷土資料館	
推進目標	いつでも、どこでも、誰でもが主体的に学ぶことのできる機会を充実します。					
事業名	広報活動の充実（ホームページ・郷土資料館だより）					
事業内容・目的	町の歴史や自然及び加賀家文書に関することをホームページなどを通じ、情報の提供を行い町民の学習機会の充実を図ります。					
評価指標	1. ホームページ更新回数（郷土資料館だより更新を除く） 2. 発行回数（広報べつかい版、館配布・ホームページ配信版）					
備考						
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	○	○	○	○	○	
目標値1	12	12	12	12	12	
目標値2	24	24	24	24	24	
実績1	25					
実績2	24					
決算額	-					
評価	A					
令和元年度（2019）実績						
1. ホームページ更新回数（郷土資料館だより更新を除く）-25回 事業のお知らせや実施報告を主に掲載しました。						
2. 発行回数-24回 「広報べつかい版」では、事業のお知らせを主としています。「館配布・ホームページ配信版」では、町の歴史や自然に関するコラムを掲載しました。 専門的な内容を多く提供出来るよう努力が必要である。						

1-1-1-18						
分類	1-1-1 世代共通-学習分野			担当課	郷土資料館	
推進目標	いつでも、どこでも、誰でもが主体的に学ぶことのできる機会を充実します。					
事業名	郷土学習の支援					
事業内容・目的	町内外及び学校関係、各種団体の歴史や自然に関する調査・研究の支援を行い、情報の相互提供などを行い学習機会の充実を図ります。					
評価指標	1. 件数					
備考						
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	○	○	○	○	○	
目標値1	20	20	20	20	20	
実績1	39					
決算額	-					
評価	A					
令和元年度（2019）実績						
1. 歴史関係-35件、自然関係-4件（町内-10件、管内-9件、管外-9件、道外11件） ※来館、電話での回答や関係資料の提供を行うなどして対応しました。						

1-2-1-17						
分類	1-2-1 世代共通-芸術文化分野			担当課	郷土資料館	
推進目標	ふるさと芸術・文化を振興し、文化芸能団体活動をサポートします。					
事業名	郷土研究会等の育成					
事業内容・目的	町内にある郷土研究会等への指導・協力を行い、郷土研究の充実・発展を目指します。					
評価指標	1. 指導・協力回数					
備考						
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	○	○	○	○	○	
目標値1	24	24	24	24	24	
実績1	32					
決算額	-					
評価	A					
令和元年度（2019）実績						
1. 指導・協力回数-32回 別海町郷土研究会に対して行いました。 ①「風蓮湖周辺動植物調査」（15回）（郷土資料館と協同調査） ②古写真・文献デジタル化作業（17回）						

風蓮湖動植物調査記録



コウホウムギ



エゾツルキンバエ



オナガガモ



ヒドリガモ

1-2-3-09					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野		担当課	郷土資料館	
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	郷土資料の収集・整理・保存・調査研究				
事業内容・目的	所蔵資料のうち、未整理や未分類、調査研究が不十分なものに対して、資料基本台帳のデジタルデータベース化と同時進行で整理などを実施するとともに、次世代に継承しなければならない郷土資料を収集します。				
評価指標	1. 資料基本台帳登録資料数				
備考	1. 資料基本台帳登録資料数 ※令和2年3月31日現在総資料数 19,088点(平成17～令和元年度実績3,184点)				
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	200	200	200	200	200
実績1	173				
決算額	56千円				
評価	B				
令和元年度(2019)実績					
1. 資料基本台帳登録資料数-173点(所蔵・寄贈資料分-計測・注記・写真撮影)					
2. 資料の寄贈・収集・作成					
①寄贈資料数-86点(自然3点、生活2-53点、産業-15点、文書資料-15点)					
②作成資料数-別海町の漁業(鮭漁編)ニシベツ献上鮭-3点					

1-2-3-10						
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野			担当課	郷土資料館	
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。					
事業名	歴史や自然に関する調査研究					
事業内容・目的	町の歴史・自然に関する調査研究を計画的に進め、知られざる史実を掘り起こし、教育普及活動を通して、町民に広く公表します。					
評価指標	1. 調査件数					
備考						
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	○	○	○	○	○	
目標値1	2	2	2	2	2	
実績1	4					
決算額	-					
評価	B					
令和元年度（2019）実績						
1. 調査件数-4件						
①歴史-「加賀家文書等資料」の詳細調査及び解読作業						
②歴史-拓殖産婆と開拓保健婦たちの足跡（企画展開催）						
③歴史-西春別2遺跡（昭和56年-1956）出土資料の調査（当館所蔵資料） 未整理、未発表であった同遺跡の出土遺物の論文化（令和2年度も継続）						
④自然-風蓮湖周辺の動植物調査（町郷土研究会と協同調査） 調査14年目（令和2年度も継続）						

1-2-3-11	
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野 担当課 郷土資料館
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。
事業名	ふるさと講座
事業内容・目的	町の歴史や自然に関する講座を開設し、ふるさと別海への愛郷心の高揚を図ります。
評価指標	1. 受講者の満足度（アンケートによる）
備考	
年度	2019 2020 2021 2022 2023
実施計画	○ ○ ○ ○ ○
目標値1	85% 85% 90% 90% 95%
実績1	89%
決算額	86千円
評価	A

令和元年度（2019）実績

1. 受講者の満足度-89%（アンケート回答114人）

自然系・歴史系共に満足度の高い講座となり、大変好評でした。

自然系	期 日	場 所	内 容	受講者数
①	5月19日	野付半島	「シギ・チドリ観察会」 講師：別海町立中春別中学校 校長 藤井薫氏	9人
②	11月30日	野付半島	「初冬の野鳥観察会～コクガン・ユキホオジロを観察しよう！」 講師：別海町立中春別中学校 校長 藤井薫氏	20人
③	2月2日	風蓮湖 尾岱沼	「冬の野鳥観察会-世界最高齢のオオハクチョウを探そう！」 講師：別海町立中春別中学校 校長 藤井薫氏	13人
歴史系	期 日	場 所	内 容	受講者数
①	4月20日	野付半島	「江戸時代のノツケ～野付通行屋・番屋跡遺跡～」 講師：郷土資料館 主幹 石渡一人	29人
②	7月7日	奥行	「明治から昭和の交通の要所 奥行地区文化財を巡る」～史跡旧奥行白駅通所保存修理工事完成見学会～ 講師：教育委員会生涯学習課文化財担当 主幹 戸田博史	20人
③	10月27日	野付半島	「擦文時代～アイヌ時代遺跡巡り～オンネニクルの森を歩こう～」 講師：郷土資料館 主幹 石渡一人	20人
歴史系特別版	期 日	場 所	内 容	受講者数
①	2月22日	郷土資料館	「北の開拓地で生命をむかえる-拓殖産婆と開拓保健婦たちの足跡～別海町お産の歴史～」 講師：別海町拓殖産婆研究会 清水節子氏・小泉久美子氏	21人



自然系①



自然系②



自然系③

参加者の感想（アンケートから）

自然系①

- ・風が強くて大変だったが、藤井先生の親切な説明と気配りで、そこそこ鳥を見ることができました。ありがとうございました。
- ・風が強かったのも、種類が少なく残念ですが、シギ・チドリの観察ポイントや生態等を教えて頂き、今後観察するのにとても参考になりました。ありがとうございました。
- ・観察会当日に潮まわりが最良になるのも難しいし、強風もあり条件は良くなかったが、トウネン・シロチドリ、キョウジョシギなどシギチを見れた。ハヤブサが見られたのは幸運だった。オジロワシの多さもあらためて、野付半島はすごいと思いました。

自然系③

- ・沢山の鳥がいました。肉眼ではなかなか見る事は出来ませんでしたが、オオワシの群れにびっくりでした。とても楽しかったです。有難うございました。今日は30種類居ました。
- ・天気もよく、風もなくバードウォッチングには絶好のコンディションでした。ありがとうございました。オオハクチョウ無事見れました。
- ・オオハクチョウの27歳鳥写メOK。自分で確認できませんでしたが、良かった。

歴史系①

- ・風が冷たかったが、天気よく気持ちよかった。150～200年ぐらい前だろうか、畑のウネや穴が残っているのは、すごいと思った。
- ・昨年5月に訪問した際に、この講座を知り1年間待ちました。今は無き建造物に昔の栄かを想像出来るようだ。説明が大変良かったです。
- ・江戸時代の遺跡の説明がとてもわかりやすく興味がそそられる内容でした。会津藩士の墓が気になりました。戊辰戦争で敗れ逃げてきたのでしょうか。南下するロシアに備えて自ら北方警備に来たのでしょうか。また、機会があれば参加したいです。
- ・今まで気が付かなかった歴史的遺物を見て、説明を聞くことが出来て、とても良かったです。今後も新たな発見等があれば説明を聞きたいと思います。ありがとうございました。

歴史系③

- ・普段歩けない場所を説明を受け散策出来よかった。つたうるし、あさり貝、巻貝、たんちようつるなど見れ秋のひとつときを楽しめよかった。
- ・普段は入れない森を歩いて探検みたいで楽しかったです。厚岸草も初めて見ました。チャシ跡にも入れて貴重な体験ができた良かったです。また、このような講座があれば参加したいです。
- ・無料なのに濃い内容でびっくりしました。いつもながめているだけだった神秘的野付の海森を詳しく知る。事ができ大変満足でした。本当にありがとうございました。

歴史系特別版

- ・本日の発表により、先輩達が尽力してくれた中、別海町の母子保健活動がここまで充実し続けられて来た事がよく理解出来ました。信念はひき継がれているのだと痛感しています。町立病院でお産ができる事は今の時代めずらしくなって来ている中、少子化にも貢献されていると思います。
- ・とってもいい講座でした。後日談も含めて、さらに中味を記録して下さい。活字の歴史に加えて取材のはなしも興味深いです。



歴史系①



歴史系②



歴史系特別版①

1-2-3-12					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	加賀家文書歴史講座				
事業内容・目的	加賀家文書を中心とした近世江戸時代に関する講座を開設し、加賀家文書に対する理解を深めます。				
評価指標	1. 受講者の満足度（アンケートによる）				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	83%				
決算額	-				
評価	B				

令和元年度（2019）実績

1. 受講者の満足度-83%（アンケート回答10人）

国立アイヌ民族博物館PR展とのタイアップ事業となりました。内容も加賀伝蔵のアイヌ語についてであり、興味関心の高さが伺えました。

期 日	場 所	内 容	受講者数
10月20日	郷土資料館	「アイヌ語と日本語-加賀伝蔵が見た道東地方のアイヌ語の世界」 国立アイヌ民族博物館設立準備室 研究員 深澤 美香 氏	11人

参加者の感想（アンケートから）

- ・アイヌ語って深い。初めてのアイヌ語のお話だったので、また機会があれば参加したいと思えた。
- ・アイヌ文化のアイデンティティーであるアイヌ語を、ぜひ復活させてほしい。
- ・大変興味深く聞かせていただきました。別海町にこんな人がいたなんておどろきです。
- ・とてもわかりやすい説明でした。道東（伝蔵）のアイヌ語について、もう少しお話が聞きたかったです。来年民族博物館に行きたいと思いました。ありがとうございました。
- ・アイヌ語のことがとても勉強になりました。
- ・アイヌ語について体系的に学べて良かったです。

